

7 保育福祉科 夜間主コース トワイライトクラス 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	児童家庭福祉	2	
	社会福祉		2
	社会的養護	2	
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの保健Ⅱ	1	
	子どもの食と栄養		2
	保育課程論		2
	保育内容総論	1	
	乳児保育		2
	社会的養護内容		1
	保育表現技術・幼児体育Ⅰ		1
	保育表現技術・楽典	1	
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
	保育実習指導Ⅰ a		1
保育実習指導Ⅰ b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習研究概論	2	
	クラスルームⅠ		1
合 計 単 位 数		21	19
		40	

科 目	体育 I	講 師	菊池 一英
授業目標	<p>幼児体育の意義と社会的背景を学び、幼児の心身の発育発達に則した、幼児体育の理論を学びます。また、幼児体育の基本である“遊びを中心”とした指導法を実践します。そして、子どもの身近にある運動遊具の管理方法についても学びます。保育現場に即生させるバラエティーに富んだ体育遊びの数々を身に付けます。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児体育の意義と社会的背景、コミュニケーションゲーム（握手で遊ぼう） 2. 保育現場での体育的活動（ビデオ視聴）—自由・設定形態— 3. 体育遊びを年間通して、実施していく〈ねらいとその意味〉 4. 体育遊びへの導入—展開と方法（ふれあい遊び） 5. “ ” （まねっこ遊び） 6. “ ” （マット遊び） 7. “ ” （鬼遊び）※野外指導になります 8. “ ” （ジャンケン遊び） 9. “ ” （リズムダンス遊び）※ゴリラ、きのこ、さんぽ 10. “ ” （運動量の多い遊び） 11. “ ” （造形とのコラボ）※きのこで遊ぼう 12. “ ” （ファンタジー遊び）※ビデオ視聴 13. “ ” （巧技台遊び） 14. “ ” （実技の振り返り） 15. 体育遊びにおける、エピソード記録とは？ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『仲間づくりのためのおもしろゲーム遊び』メイト</p> <p>参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	出席率、レポート等で総合評価します		

科 目	体育 I	講 師	真砂 雄一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な運動を通して、保育現場でも子ども達に運動の楽しさを教えることのできる素地を養う。 ・ 基礎的な運動やスポーツ種目を体験することで、身体づくりのための体力を養う。 ・ 生涯に渡ってスポーツに親しむ生涯スポーツの理念と実践力を身につけるようにする。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、からだほぐし 2. からだほぐし 3. リズム運動 4. レクリエーションスポーツ 5. 身体表現 6. 運動会種目 7. 体力テスト 8. 体力テスト 9. バレーボール 10. 鬼ごっこ 11. フットサル 12. ダンスエクササイズ 13. ドッジボール 14. 器械運動 15. ポートボール 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特になし</p> <p>参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	各運動の基本的技能（20%）+実技参加の積極性および協調性（40%）+授業に対する関心・意欲・態度（40%）=合計（100%）		

科 目	体育Ⅱ	講 師	宮脇 裕子
授業目標	<p>幼児期は、まず「からだ」が出来ていく基となる時期で、体育あそび及び適切なスポーツを通して、筋力・体力・調整力を付けると共に、明るく健康で、豊かな情操を培えるよう保育士の温かく育む姿勢と指導力が求められている。その指導者としての資質を養うと共に、バイタリティー溢れる豊かな遊び心を育てながら運動能力向上を目指して、楽しくマルチスポーツを工夫展開していく。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「あそび」とは幼児にとって何を形成していくのか？走るをテーマにゲームし考える 2. 伝承遊び、鬼ごっこ等、すぐ取り組める道具を使わない遊びを追求する。 3. リズム体操を通して、楽しく体を動かし、表現力を養い、グループで新たな動きを作る 4. 用具を使つての遊びその1 ドッジボールというゲームのルールを千変万化させる。 5. 用具を使つての遊びその2 平均台、マット、フラフープを利用して 6. 用具を使つての遊びその3 基本はポートボール、バスケットボール、アルティメット 7. フットサルに至る前段階のボールあそび 8. 近くの公園で、基礎トレからのフットサル 9. 雨の日の体育室のレクリエーションゲーム 10. ウォーミングアップの効用、スロートレーニングとしてのヨガストレッチ、ピラティス 11. 新聞紙を使ったあそび、新聞紙ホッケー、チャンバラごっこ 12. リズムダンス創作1 鑑賞、曲選択、振り付け 13. リズムダンス創作2 民族的身体活動、よさこいソーラン 14. リズムダンス創作3 ジングルベル 15. 発表会 実技試験 グループ活動の意義考察 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……随時プリント配布</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席第一。リズムダンス創作をグループで行い発表する。その貢献度と時を活かして仲間と共に楽しんで活動出来ているか。</p>		

科 目	保育原理	講 師	清水 友康
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義、歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。 ・日本、海外の保育環境、保育方法などについて学ぶ。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・保育の現状と今後の課題について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 保育の理念、保育とは 3. 乳幼児期の子どもの特性について 4. 子どもを理解するとは 5. 養護と教育の一体性とは 6. 環境を通して行う保育の具体的実践について 7. 発達過程に応じた保育とは 8. 保護者との緊密な連携とは 9. 現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う保育とは 10. 生活と遊びを通して総合的に行う保育 11. 保育における個と集団への配慮とは 12. 保育の計画・実践・記録・評価・改善の過程の循環 13. 諸外国の保育の現状と日本の保育 14. 試験 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『保育所保育指針』〈平成29年告示〉</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席、授業態度(個人ワーク、グループワークへの取り組み)を重視。授業で配布するワークシートの内容、試験による総合評価。</p>		

科 目	教育原理	講 師	桑嶋 晋平
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の思想や歴史を学ぶことを通して自身の教育観や子ども観を問いなおすこと ・自身のうけてきた教育をふりかえり、ことばで表現すること ・現代の教育の諸問題を多角的な視点から考えること 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 「教育」とは何か？ 3. 「学び」と「教え」 4. 共同体と人間形成 5. 近代学校の成立と特徴 6. 「子ども」とは誰か？ 7. 近代家族と教育 8. 「主体的である」とはどういうことか？ 9. 教育の環境・空間 10. 教育の空間をデザインする 11. 遊びと体験 12. 対話について 13. ジェンダーと教育 14. 異質な他者との共生 15. 講義のまとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……適宜指示する		
評 価 の 法	出席状況および各講義後の小レポートによって評価する		

科 目	児童家庭福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な児童家庭福祉の法、施策、行政などの知識を学ぶ。 ・子どもや家族、家庭についての幅広い見方や考え方を養う。 ・よりよく生きること、ウェルビーイングについて理解する。 ・感じたことや思ったことを文できちんと表現できるようにする。 ・自分の考えをまとめ、伝える力を身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、ヒトと人の理解 2. 児童福祉の基本理念 3. 児童福祉と健全育成 4. 児童憲章とよい環境(1) 5. 児童憲章とよい環境(2) 6. 保育と子育て支援(1) 7. 保育と子育て支援(2) 8. 保育と子育て支援(3) 9. 保育と子育て支援(4) 10. 保育と子育て支援(5) 11. 障害と子育て支援(1) 12. 障害と子育て支援(2) 13. 障害と子育て支援(3) 14. 社会的養護と児童虐待 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育者養成のための子ども家庭福祉』 大学図書出版 2018 参考書 ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 法	試験に自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な社会福祉の法、施策などの知識を学ぶ。 ・人（あるいは生物としてのヒト）について幅広い見方や考え方を養う。 ・よりよく生きること、ウェルビーイングについての理解を深める。 ・感じたことや思ったことを文できちんと表現する力を高める。 ・自分の考えをまとめ、伝える能力を向上させる。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、人類の歩みと福祉 2. 社会福祉の歴史(1) 3. 社会福祉の歴史(2) 4. 社会福祉の歴史(3) 5. 貧困と生活保護制度(1) 6. 貧困と生活保護制度(2) 7. 障害と生活と福祉(1) 8. 障害と生活と福祉(2) 9. 障害と生活と福祉(3) 10. 難病と生活と福祉 11. 老いと生活と福祉(1) 12. 老いと生活と福祉(2) 13. 専門性と援助の方法(1) 14. 専門性と援助の方法(2) 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……相澤譲治編『保育士をめざす人の社会福祉』みらい 2016 参考書 ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会的養護	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護とは何かを理解する ・社会的養護の歴史や法制度について理解する ・社会的養護のニーズとその変化を理解する ・社会的養護のもとで生活する子どもの状況を理解する ・児童虐待の現状理解と被虐待児への理解を深める ・社会的養護における保育士の役割や業務について理解する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調べ学習① 2. 調べ学習② 3. 社会的養護の基本概念 4. 社会的養護の歴史と法制度の整備① 5. 社会的養護の歴史と法制度の整備② 6. 社会的養護のニーズの変化 7. 児童虐待①—児童虐待とは何か— 8. 児童虐待②—虐待対応の流れ— 9. 児童虐待③—被虐待児の特性とケア— 10. 子どもの権利 11. 施設で暮らす子どもの生活と支援 12. 子どもの自立支援 13. 障害の理解と支援 14. 家庭養護 15. テスト 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……指定なし 参考書 ……適宜資料を配布		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、リアクションペーパー提出、テストによる総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅰ	講 師	前川 圭一郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実践に関わる発達心理学の基礎知識を学ぶ。 ・ 発達心理学の知見と保育実践を結びつけながら学ぶ。 ・ 子どもが人との相互的な関わりを通して発達していくことを具体的に理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 身体機能の発達、運動機能の発達 3. 乳幼児期の特徴と発達Ⅰ 4. 乳幼児期の特徴と発達Ⅱ 5. 幼児期の特徴と発達Ⅰ 6. 幼児期の特徴と発達Ⅱ 7. ことばとコミュニケーションの発達 8. 社会性の発達 9. 自己と感情の発達 10. 遊びの発達 11. 知覚と認知の発達 12. 発達凸凹についてⅠ 13. 発達凸凹についてⅡ 14. 学齢期以降の発達 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『0～6歳子どもの発達と保育の本』（Gakken保育Books）		
評 価 の 法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験、レポート等による総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅱ	講 師	前川 圭一郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の心理学Ⅰで学んだ知識を実践で生かすため、子どもの心身の発達と保育実践について学ぶ。 ・ 子どもの行動に対する理解を心理学の諸原理から考える。 ・ 課題に対して、議論や発表を通して学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの発達を把握するためには 3. 子どもの行動のメカニズムを知るⅠ 4. 子どもの行動のメカニズムを知るⅡ 5. 子どもの行動のメカニズムを知るⅢ 6. 子どもの行動のメカニズムを知るⅣ 7. 気になる行動をどのように考えるか 8. 気になる行動をどのように支援するか 9. 環境へのアプローチについて 10. ことばとコミュニケーションの理解と指導 11. 社会性の発達と支援について 12. 遊びの発達と支援について 13. 発達支援における連携と協同 14. 就学支援について 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……授業でその都度、紹介を行う		
評 価 の 法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験、レポート等による総合評価		

科 目	子どもの保健Ⅱ	講 師	竹岡 紀子
授業目標	<p>この授業を通して、保育現場で保健活動を展開できる基礎を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考える。 ・子どもの疾病とその予防、適切な対応について学ぶ。 ・救急時の対応や事故防止、危機管理について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの発育・発達 3. 日常生活の援助—手洗い・抱き方・おむつ交換・衣服の着脱 4. 身体の計測と発育評価 5. おむつ実験 6. おむつ交換時の観察ポイント 7. 子どもの疾病と看護—バイタルサイン 8. 子どもの疾病と看護—最近の健康問題 9. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 10. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 11. 子どもの事故の特徴と安全対策 12. 応急処置 13. 救急蘇生法 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書…… “子どもの保健Ⅰ” で使用するテキスト</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 法	受講態度、レポート、試験などによる総合評価		

科 目	子どもの食と栄養	講 師	深川 卯子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について（特に朝食欠食など）。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する（アレルギーについて含）。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発育期の食生活と栄養について 食育の大切さ 2. 栄養素について 働きと疾病との関係など 3. 〃 炭水化物・食物繊維 4. 〃 脂質 5. 〃 たんぱく質 6. 〃 ビタミン 7. 〃 無機質 8. 日本人の栄養摂取基準について 9. 食品群について 10. 乳汁期の食生活 11. 離乳期の食生活 12. 幼児期の食生活 13. 幼児期の偏食・食物とアレルギー 14. 現在の食生活の問題点と食育の意義・まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書…… 『発育期の子どもの食生活と栄養』 学建書院</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 法	出席、小テスト（授業中）、試験による総合評価		

科 目	保育課程論	講 師	中村 美奈子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育課程の編成と指導計画の作成を行い、その必要性と基本を学ぶ。 ・ 年齢別の発達の主な特徴と保育者の援助の留意点を学ぶ。 ・ 子ども一人ひとりの発達、保育の展開を学び、実践につながる知識を深める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 保育課程とは何か 3. 保育の基本と計画 4. 保育における指導計画の種類と役割 5. 指導計画上の留意事項 6. 子どもにふさわしい活動について考える 7. 保育における計画の考え方 8. 長期、短期の指導計画について 9. 指導計画の作成① 10. 指導計画の作成② 11. 講評 12. 指導計画の作成③ 13. 指導計画の作成④・評価 14. 試験 15. まとめ <p style="text-align: right;">※内容は授業の進み具合によって変更することもあります</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針解説書』、『養護と教育が一体となった保育の言語化』全国社会福祉協議会、授業内で配布したプリントはまとめておく 参考書 ……特に指定なし 授業の中で紹介します		
評 価 の 法	出席状況、授業態度、課題提出、試験による総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	上平 泰博
授業目標	<p>子どもたちは大人たちと違って、心身を一気に加速させ急成長を遂げている驚くべき存在です。子どもは「遊びの天才」とも言われ、一人前の大人になるために、子ども期から様々な体験を蓄積してきました。そして子どもは、昔から我が家の、地域の宝ともされ育てられました。貧乏でも悲喜こもごも、それでも子は宝ゆえ玉石として磨かれました。あるべき子育て子育ち像があった時代が終焉したいま、どのような保育内容が提示されているでしょうか。皆さんからの具体的発表事例とグループ討議も交え、できるだけ実践的なディベート方式の授業をします。日ごろから保育に対する問題意識が研ぎ澄まされるような授業を目標に、どのような現場にあっても即応できる力を養います。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の理念と保育指針に描かれている保育観の内容とは 全体計画のガイダンスほか 2. ヒトから人になっていく過程で培われた生命の存続・成長・発達という保育哲学の課題 3. 人類子育て史の観点から自然生態的で社会関係史から表出した挨拶の始まり事例など 4. いつどうして保育所が必要とされたのか、保育法制が実施整備されるようになったいま 5. なぜ保育は福祉行政で教育行政ではなかったのか 保育に求められていた役割とは 6. 保育の事業経営に参画することの意味と価値、誰が保育事業の主体者なのか 7. 多文化総合保育をつくる、言葉、身体、表現等を豊かにすることでの多様な創造性 8. 衣食住による心身の健康と情緒の安定、それは喜怒哀楽を契機とした共感と合意形成 9. 基本的な生活習慣と生活リズムをつくる中に見られる心地よさの保育とは 10. 多様な諸課題を抱える当事者がいま何を大切にして、目標を実現しようとするのか 11. 親子間の心の葛藤と屈折行動、思いや願いを伝えあい受容されることで痛みは癒される 12. 保育実践者の保育スキルの向上に必要な協同保育をめざした家庭力と地域力の重視 13. 保育という仕事の選択と働き方（改革）で問われる当事性の学びと主体の形成はどこに 14. 自立支援に必要な援助と見守り対応 個々人に見合った目標計画活動評価の記録作成 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……なし 参考書 ……『保育所保育指針』 その他の文献は必要に応じてお知らせします。		
評 価 の 法	定期試験の結果とします。適宜提出してもらおうレポートは成績評価の対象としません。		

科 目	乳児保育	講 師	柴田 篤美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育の特徴や意義を理解し、実際の保育現場での保育対応を学ぶ。 ・ 乳児の発達を学び、個々の発達をふまえながらの保育の重要性を理解する。 ・ 乳児の生活、遊びを豊かにする為に保育士に必要とされる知識を学ぶ。 ・ 乳児を取り巻く環境を知り、保護者への支援や対応について理解を深める。 ・ 手あそびや絵本の読みきかせや遊びなどの実技を通して保育士のかかわり方を学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進め方と内容。乳児保育の意義と現状。発達と胎生期の育ち。 2. 乳児の育ちと保育の要点 誕生から6ヶ月未満 3. 乳児の育ちと保育の要点 6ヶ月から1歳3ヶ月 4. 乳児の育ちと保育の要点 1歳3ヶ月から2歳 5. 乳児の育ちと保育の要点 2歳 6. グループディスカッション 7. 小テスト 8. 保育内容 授乳・離乳食 9. 保育内容 食事・睡眠 10. 保育内容 排泄・着脱・清潔 11. 保育内容 遊び実習 12. 保育内容 遊びまとめ・健康 13. 保育計画・保育記録・家庭との連携 14. 保護者対応・まとめ 15. テスト 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『乳児保育一人一人を大切に』加藤敏子著 萌文書林 参考書 ……特になし		
評 価 の 法	出席、授業態度を重視。実技の取り組み方。テスト。総合的に評価する。		

科 目	乳児保育	講 師	藤間 理紗子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳未満児の心身の発達を学ぶ。 ・ 乳児期の子どもたちの生活を支える場を理解し、保育の内容や方法、環境を学ぶ。 ・ 乳児期の子どもたちの健やかな育ちを支える生活や遊びの実践を学ぶ。 ・ 子育て支援や保護者との連携について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育とは 2. 0歳児前期の発達と保育内容 3. 0歳児後期の発達と保育内容 4. 1歳児の発達と保育内容 5. 2歳児の発達と保育内容 6. 乳児期の食事 7. 乳児期の排泄 8. 乳児期の睡眠 9. 保育所等における乳児保育の一日 10. 乳児保育の実際（遊びや生活の環境） 11. 乳児保育の実際（職員間の協働） 12. 乳児保育の実際（保護者との連携） 13. 子育て支援の現状 14. まとめ 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……特になし		
評 価 の 法	受講態度、出席を重視		

科 目	社会的養護内容	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の事例を通して社会的養護を理解する ・社会的養護における支援内容を深める ・支援者の立場となる自分のことをより深く理解する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護のおさらい 2. 事例検討① 3. 事例検討② 4. 事例検討③ 5. アセスメントとソーシャルワーク① 6. アセスメントとソーシャルワーク② 7. 自立支援計画書の作成 8. 被措置児童等虐待について 9. 子どもの権利擁護 10. 家庭的養護とはなにか 11. アフターケア 12. 子どもと向き合う一支援者の役割とはなにかー (DVD学習) 13. 自己覚知① 14. 自己覚知② 15. レポートテスト 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……指定なし 参考書 ……適宜資料を配布		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、リアクションペーパー提出、テストによる総合評価		

科 目	保育表現技術・幼児体育 I	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発育・発達に即した、幼児体育の理論を学ぶ。 ・できるようになる喜び、できるように頑張ろうとする心の指導法を学ぶ。 ・子どもの身近にある運動用具の安全な使用法、管理の方法を身に付ける。 ・実践的な幼児体育の遊びのつながりを理解し方法を学ぶ。 ・年齢発達に合わせて、グループワークで授業のまとめを行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児体育の意義、運動指導のポイントと保育者の役割 2. 幼児期運動指針のポイント、幼児体育の始まりの流れ 3. 幼児の健康課題 4. 各運動能力の発達に適した時期、調整力とは 5. 指導者の役割、幼児体育プログラム作成上の留意点 6. 実技 (徒手運動、マット運動、じゃれつき遊び) 7. 実技 (跳び箱、鉄棒、縄跳び) 8. 実技 (親子体操) 9. 実技 (風船遊び) 10. グループワーク① ……幼児体育、発達に適した年間計画作成 11. ② 12. ③ 13. ④ 14. ⑤ 15. グループワーク発表 ※授業の内容は進み具合によって変更する場合があります。 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート、ミニテストによる総合評価		

科 目	保育表現技術・幼児体育 I	講 師	真砂 雄一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における身体運動に関する基本知識を理解する。 ・子どもの身体活動と運動遊びの具体的な内容について理解・修得し、保育者としての基礎的能力と実践力を身につける。 ・運動遊びにおける設備・遊具などの安全管理および安全教育に必要な知識や技能を修得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、リズム遊び 2. 身体表現 3. ボール遊び 4. 鬼ごっこ 5. 小型遊具と大型遊具を用いた遊び 6. 幼児体育指導案の計画、作成 7. 模擬実践 8. 模擬実践 9. 模擬実践、まとめと振り返り 10. 幼児体育の意義、目的 11. 幼児体育実践、運動指導の実際 (DVD) 12. 子どもの運動能力、体力 13. 年代に応じた運動の指導法 (DVD) 14. 子どもの発育・発達と遊具 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……特になし		
評 価 の 法	指導案作成・模擬実践内容 (20%) + 実技参加の積極性および協調性 (20%) + 授業に対する関心・意欲・態度 (30%) + 試験 (30%) = 合計 (100%)		

科 目	保育表現技術・楽典	講 師	出口 雅生
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基本的な構成要素を理解する。 ・子どものうたに親しみ、歌うこととリズムに合わせて身体を動かすことの喜びを自ら感じとる。 ・楽譜の読み方とピアノ演奏の基礎を学ぶ。 ・簡単な合奏を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 音の高さについて 3. 音の長さについて 4. 拍子について 5. 音階について 6. ピアノ① ピアノ演奏の基礎 7. 合奏① ハンドベル 8. 調性について① 音階 9. 調性について② 調号 10. 和音について① 三和音 11. 和音について② 和音の連結 12. ピアノ② 子どもの曲 13. 合奏② 子ども用の楽器 14. 試験 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 法	平常点、提出物、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	木下 裕子・佐藤 季里 鈴木 祥子・関 義夫
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。 ・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。 ・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。 ・毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。 （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニックを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について） 3. 〃 ：拍子記号・リピート記号 4. 〃 ：異なる左右の指の動き 5. 〃 ：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現 6. 〃 ：タイの奏法 7. 〃 ：8分音符の導入 8. 〃 ：8分音符の導入 9. 〃 ：付点4分音符・8分音符の奏法 10. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 11. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 12. 〃 ：「むすんでひらいて」を弾いてみよう 13. 〃 ：ハ長調の弾き歌い演習 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>造形表現の意義を考え、様々な教材を用いて主に絵画分野の課題（講義と実技）を行う。学生各自は、内なる心の思いを作品に表現し、造形の喜び、面白さを体感する。また制作の過程から保育者と子どもの両方の立場を経験する。</p> <p>そして子どもの主体的活動及び保育者の援助とは何かを考え、自らの保育における造形感、造形技術を養う。</p> <p>*進行状況に合わせて内容や順番を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 好きな色のチームキャラクター、マップ制作。 2. 様々な線遊び。ミニコインポリ制作。 3. 基本図形の組み合わせで絵を描く。●▲■ 4. 色について（色相環、色相、明度、彩度、反対色、近似色）。レインボーの世界。 5. 造形表現について（表現と表出、意義、自己肯定感、個の確立、遊び、多様性） 6. 絵画の発達段階について（なぐりがき期、象徴期、前図式期、図式期） 7. 幼児画の特徴1（頭足人、レントゲン画、誇張画、展開描法、多視点画、アニミズム的表現） 8. 幼児画の特徴2（カタログ表現、基底線表現、積み上げ表現、概念画、モダンテクニック） 9. モダンテクニック1（はじき絵、フロッタージュ、デカルコマニーなど） 10. モダンテクニック2（スクラッチ、スタンプ、拓本、染め、ひっかき絵など） 11. グループによる壁面制作：内容を相談、検討し、表現展のプランを立て必要な道具材料を揃える。 12. グループによる壁面制作：展示作品の制作。（個別） 13. グループによる壁面制作：展示舞台の制作。（グループ） 14. グループによる壁面制作：飾り付けと仕上げを行い完成。全体発表をする。 15. まとめ、ノート制作 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に授業態度を重視（授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な姿勢、適切な片付け、出席状況）ノート提出。		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な学習体験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・ 実習に臨む目的意識、実習生としての常識を身につける。 ・ 実習日誌の記載方法を体得する。 ・ 学生自身が立案、作成した指導案や制作物の発表を行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の概要 2. 保育所の概要と実習生としての心構え 個人票作成 3. 保育所の1日の流れと保育内容の理解 4. 実習日誌を書く意義と記入の仕方 5. 幼児クラスの実習日誌の書き方 6. 乳児クラスの実習日誌の書き方 7. 実習目標を立てる① 8. 実習目標を立てる② 9. 実習に伴う書類の作成 事務手続きの確認 10. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成① 11. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成② オリエンテーションについて 12. グループワークによる手遊び・絵本の発表① 13. グループワークによる手遊び・絵本の発表② 14. まとめと振り返り 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『保育所保育指針』 参考書 ……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく		
評 価 の 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な学習経験である施設実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・ 児童福祉施設の入所児、職員に対する理解を深める。 ・ 実習に臨む目的意識、問題意識を育てる。 ・ 実習日誌の記載方法を体得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設実習の意義と目的 2. 児童福祉入所・通所施設実習の意義と目的 3. 児童養護施設について 4. 乳児院について 5. 知的障害児・者施設について 6. 母子生活支援施設について 7. 実習日誌の理解と演習① 8. 実習日誌の理解と演習② 9. 実習目標を立てる 10. 施設別講義① 11. 施設別講義② 12. 施設別講義③ 13. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 14. まとめと振り返り 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、発表、提出物、試験等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	石田 延江・島内 亜津子 鍋島 久美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 ・毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、ヘ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：ヘ長調の音階と曲 12. 〃 ：ヘ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの造形表現とその環境について理解し、その基本的知識と技術を学ぶ。 ・立体的あるいは空間的な造形製作の意義とその目標について理解し習得する。 ・素材と題材について学習し、その技術を習得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形Ⅱの準備と、造形Ⅱにおける表現の意味について考える 2. 紙皿で作るカタツムリ：ハサミの使い方、人への渡し方 3. 紙皿で作るカタツムリ：ハサミの使い方、人への渡し方 4. 空き箱を使ってマリオネット作る（自分で操り遊ぶ、動きの面白いオモチャを作る） 5. 紙袋を使って：パクパク人形を作る 6. いろいろな素材を使って「音」の出るオモチャを作る（1人2種類の楽器作り） 7. ゴミ袋を使って風でなびく鯉のぼりを作る 8. 引いて遊ぶオモチャ（工作用紙、色画用紙などを使って） 9. 新聞紙を使って服を作る 10. 紙コップの不思議な生き物（紙コップなどを使って実在しない生き物を作る） 11. 牛乳パックを使ってオモチャを作る 12. モビールを作る1回目 13. モビールを作る2回目 14. モビールを作る3回目 15. モビールを作る完成 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『絵画・製作・造形あそびカンペキBOOK』ひかりのくに 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	実習研究概論	講 師	今泉 良一・熊崎 有香 松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成課程における保育実習の意義を知る。 ・保育実習Ⅰ（保育所・施設）、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲの概要を把握する。 ・保育所・施設について理解する。 ・実習生としての基礎知識・技能を身につけ、実習に期待を持つ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業説明 保育実習Ⅰ（保育所・施設）・保育実習Ⅱ・Ⅲの概要 2. 保育所について(1) 3. 保育所について(2) 4. 保育所現場職員による講義 5. 健康管理について 6. 実習の手続きについて 7. 保育実習Ⅱ・Ⅲについて(1) 8. 保育実習Ⅱ・Ⅲについて(2) 9. 施設について(1) 10. 施設について(2) 11. 実習生のマナー 12. 自己紹介スケッチブックシアターの制作 13. グループワーク 14. 試験 15. まとめと振り返り 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』 参考書 ……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく		
評 価 の 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	クラスルームⅠ	講 師	木下 裕子 なかむら しんいちろう
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した学校生活を送る上で、必要な留意事項について理解する。 ・クラス活動を通して、保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. レクリエーション 2. 学生便覧の解説・キャンパスツアー 3. キャリアカード作成 4. 個別面談 5. レクリエーション 6. 写真撮影 7. チャイルド祭について 8. 振り返り・後期の学校生活に向けて 9. クラス活動 10. クラス活動 11. クラス活動 12. クラス活動 13. クラス活動 14. クラス活動 15. 振り返り・2年次の学校生活に向けて <p style="text-align: center;">} 学校行事等の企画や準備・レクリエーション</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況による評価		